

第2学年*組 家庭基礎学習指導案

指導者 若林 美穂

1 単元名 身近な衣類から衣服を考える

2 単元の目標

被服管理に必要な被服材料、被服構成などの基礎的・基本的な知識と技術を習得し、目的に応じて着装を工夫し、健康で快適な衣生活を営むことができるようとする。

3 指導にあたって

本単元は、高等学校学習指導要領解説家庭編 第1節家庭基礎2(2)イ被服管理と着装で示されている内容であり、「被服管理に必要な被服材料、被服構成などの基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、目的に応じて着装を工夫し、健康で快適な衣生活を営むことができるようとする」ことを目標にしている。高校生の時期は、社会生活の自立に向けての準備期間であり、衣生活の自立に向けて、生涯を見通した衣生活を管理し、自分の衣生活を主体的に営むことができるようになることが求められている。

生徒の意識から、T P Oを理解し、T P Oに応じた装いをしている生徒は*割以上である。衣服を購入する際にはデザインを最も重視しており、予算やサイズは一部意識しているが、素材に関しては意識が低いことが明らかになった。洗濯やクリーニングは*割近くが家族に任せている状況であった。衣服の入手、選択、保管など、衣生活を自ら管理する知識と技術を習得させるとともに、資源の有効利用の観点から被服計画の必要性についても理解させていく必要があると考える。また、本校の男子生徒は制服の下にTシャツを着用し、女子は下着にブラウスという着こなしが多い。高校生は生活の中で制服を着用している時間が長く、制服という身近な衣服を基に快適な衣生活とは何かを考えることは、大切であると考える。

生徒の意識調査（平成*年*月*日実施、第2学年*人）

設問	回答			
① T P Oに応じた装いを意識していますか。	はい *人	いいえ *人		
② 衣服を購入する際に、重要視している点は何ですか。	デザイン *人	予算 *人		
	色合い *人	サイズ *人		
	素材 *人	流行 *人		
③ 衣服の洗濯は、自分で行っていますか。 ※「はい」と答えた生徒の洗濯方法	はい *人	いいえ *人		
	手洗い *人	洗濯機 *人		
④ 制服の手入れの方法を知っていますか。	はい *人	いいえ *人		
⑤ 自分が身につけている素材について関心がありますか。	はい *人	いいえ *人		
⑥ 衣服の修繕（ボタン付け）はできますか。	はい *人	いいえ *人		
⑦ 衣服の修繕（ほつれたところを直す）はできますか。	はい *人	いいえ *人		

そこで、本単元では、目的に応じて着装を工夫し、健康で快適な衣生活を営むことができるようすることをねらいとし、「身近な衣類から衣服を考える」と題して、様々な角度から被服管理や着装などについて考えさせていく。生徒がふだん着用している衣服について、観察や実習など体験的な学習活動を通して、学習したことを実生活に取り入れていくことができるようとする。また、家庭によって衣生活に対する考え方は様々であることから、グループ活動を取り入れ、友達の意見を聞き、様々な視点から考えられるようにしていくことで、生活を工夫し創造する思考力・判断力・表現力を育んでいきたいと考え、本単元を設定した。

4 授業の実践

(1) 本单元における評価規準〈指導内容(2) イ〉

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
被服の機能と着装、被服材料に応じた被服の整理や適切な衣生活の管理について考え方としている。	衣生活について生活の充実向上を図るために課題を見いだすとともに自分の生活を振り返り、その解決を目指して思考を深め適切に判断し表現している。	主体的に衣生活を営むために必要な情報を収集・整理することができる。被服計画、被服整理などの技術を身に付けています。	衣生活に関する知識を科学的に理解している。環境に配慮した衣生活を主体的に営むために、必要な知識を身に付けています。

(2) 指導と評価の計画 (9時間扱い、本時は第9時)

時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
1	○身近な衣服であるTシャツから保健衛生的機能社会的機能について理解する。 ・シャツの下に着用しているTシャツから、保健衛生的機能について理解する。	①高校生の着装に関心をもって学習に取り組もうとしている。 ・行動観察			①身近な衣服の着用の仕方にについて考え理解している。 ・ワークシート
2	・制服の下にはTシャツが望ましいのかを考え、制服の役割と社会的機能について理解する。				
3	○快適な衣生活を送るために必要なことについてまとめる。		①衣服は材料や構成により扱い方が違うことを考え、まとめたり発表したりしている。 ・ワークシート	①購入・着用・管理・保管についてどのような方法があるか必要な情報を収集し活用することができる。 ・ワークシート	②資源の有効活用の視点から購入・着用・管理・保管・再利用・廃棄までを考えた循環型の被服計画の必要性を理解している。 ・ワークシート
4	・布地の観察から、材料や衣服の構造の違いにより取扱いが変わることに気付く。				
5	・衣服の管理方法を着用後から順を追って整理し、科学的視点に基づき考える。				
6					
7	○衣服購入時に気を付ける点について理解する。 ・品質表示や取り扱い絵表示の読み方を観察によって確認する。				
8	・資源の有効利用の観点から環境に配慮した生活が必要であることを理解する。				
9 本時	○衣生活において各ライフステージの中で快適な生活を送るためににはどのような点に注意すべきか考える。		②各ライフステージに適した着装について考え、まとめている。 ・ワークシート		

5 本時の指導

(1) 目標

各ライフステージの中で快適な生活を送るためには、どのような点に気を付ける必要があるか考え、まとめることができる。

(2) 準備・資料

赤ちゃん人形、乳児の衣服、介護服、ワークシート

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点・評価
1 本時の学習課題をつかむ。 各ライフステージに応じた被服材料・構成について考えをまとめよう。	・青年期の単元で学んだライフステージについて振り返り、本時の学習に見通しを持てるようにする。
2 各ライフステージに応じた被服材料・構成について予想を立てる。	・人の体型、身体の動き、被服の嗜好などがライフステージによって異なることに気付かせ、それぞれに適した被服材料・構成について予想するよう指示する。
3 グループで、乳児服と介護服を観察・着用する。 (1) 赤ちゃん人形に乳児の衣服を着用させたり、構成を観察したりする。 (2) 介護服を実際に着用させ合ったり、構成を観察したりする。	・各ライフステージによる衣服の素材や構成の工夫について観察するよう指示する。
4 各ライフステージに応じた被服材料・構成についてまとめる。 (1) 今までの学習と観察・実験して気付いたことを基に、各ライフステージでは、どのようなことが大切であるか考え、各自まとめる。 (2) グループで説明し合う。 (3) 全体で話し合う。	・既習事項と、観察・着用を通して理解したことを基にまとめるようにする。
5 本時のまとめをする。	〈評〉 ワークシート (B)各ライフステージの中で快適な生活を送るために、どのような点に気を付ける必要があるか考え、まとめている。 (A)各ライフステージの中で快適な生活を送るために、どのような点に気を付ける必要があるか考え、自分の生活に照らし合わせて工夫しまとめている。 (思考・判断・表現) ・振り返りをする。